俺の人生このままでいいのか?レポート

こんにちは、鳴海です。

このレポートは 「大企業に就職すれば将来安泰だ!!」 と考えていた僕が、

トヨタに就職したけれど、 ある出来事をきっかけに 「俺の人生このままでいいのか?」と 将来に不安を抱えるようになったこと。

ビジネスと出会ったことで、 トヨタを辞めることになり、 さらに世界一周の旅に出たこと。

そして旅の途中、

23歳で1億を稼ぐ男と出会って弟子入りすることになり、経営者になった物語です。

文量は多いけれど、 「面白くて一瞬で読み終わった。」

という感想をたくさん頂いているので、 すぐ読み終わると思います。

魂を込めて書いたので、 その辺の自己啓発本よりリアルで 内容が詰まっていると思います。

このレポートを読むことで、 昔の僕のように将来に漠然とした不安を抱えている人は 解決策が見つかるはずですし、

毎日同じことの繰り返しで人生退屈だという人、 という人にも役立つはずです。

では、ここからが始まりです。 (口語体で失礼します) _____

2016年、僕は3年間働いたトヨタ自動車を辞めて起業した。

今は海外移住し、会社を経営しながら、 色々なビジネスをしている。

今は昔では考えられないほど、毎日が充実している。

朝まで本を読んで知識を蓄えたり、 徹夜で映画やドラマを見てストーリーの勉強をしたり、 数億円稼いでいる先輩経営者と会って刺激を受けたり。

好きなことを仕事にできていて毎日が楽しい。

しかし、

それとは対照的に、 トヨタ自動車で働いていた当時の僕は 今とは真逆だった。 トヨタといえば、就職活動でも人気な 超大手企業だ。

だが、僕はトヨタで働きながらも

「俺の人生このままでいいのか?」

という疑問を感じながら 毎日不安を感じて生活していた。

なぜなら、一言で言うと、 人生つまらなかったからだ。

毎日残業で忙しく、家に帰っても 仕事をしなければ仕事が片付かなかった。

理不尽な上司は何かと文句をつけてくるし、 朝と夕方では言ってることが違ってストレス。 世間では「まず3年働いてみる」と言われているのでとりあえず3年目に突入したけど、同じようなことの繰り返しで成長の実感がないし、

休日に会社の駅伝や部の運動会に 駆り出されてプライベートを犠牲にするのが 超絶嫌だった。

と言いつつ、休みの日はあっても 特にやりたいことはないし、 仕事で疲れていて 気づいたら休みが終わっていた。

先輩社員は毎日遅くまで残って ため息をつきながら仕事をしている。

全然楽しくなさそうだし、職場ではバタバタと うつで休職する人が発生してるし。 こんな状態だったので、 現状が嫌で嫌でしょうがなかった。

10年後、20年後、自分も同じようになるのか?と考えると、将来に1ミリも希望が持てなかったからだ。

しかしその後、ビジネスと出会うことで 僕の人生は一気に急展開する。

結論から言うと、 僕がこのレポートで伝えたいのは、

稼ぐ力を鍛えれば人生が変わる。

ということだ。

自分で稼げたら、嫌な環境で ストレスに耐えながら働き続けて、 貴重な人生を無駄にする必要はない。

僕はこのことに気付き、トヨタを辞めた。

そして、ビジネスをして、 自分の力で稼げるようになったことで、 今はもの凄く充実した毎日を送っている。

まずは、そこまでに至った 物語を話していこう。

2013年4月1日、僕はトヨタ自動車に入社した。

僕は燃えていた。

この会社でのし上がって金持ちになり、

自分の考えた車を世に残したいと考えていた。

そもそも、なぜ僕がトヨタに 入ろうと思ったかというと、

「自分をバカにしてきた人たちを見返したい」

これが大きかった。

僕はコンプレックスだらけだった。

そのせいで 思春期の人格形成に大きな影響を与えた。

僕は自分が大嫌いだった。 劣等感の塊だった。

だからこそ人に自慢できる何かが欲しかった。

なので、良い大学に行って良い会社に行けば 地元のバカにしてきた人たちを見返せる。 いつの間にかそう考えるようになっていった。

僕は1988年、青森県のとある町に生まれた。

僕が育った町は 青森県民に聞いても名前も 出てこないような超田舎町だった。

家からコンビニまでは車で10分と、 コンビニなのに全然コンビニエンスじゃない 本当に田舎な所だった。

そんな田舎町で、 中卒でトンネル工事の作業員をしていた父と 北海道から嫁いできた母の間に生まれた。 物心ついた頃から親はケンカしていた。 二人は顔を合わせるとケンカし、怒鳴りあっていた。

ケンカの原因はお金のことが多かった。

僕はケンカをしている時の二人が怖くて、 いつも隣の部屋で布団に包まって 耳を塞ぎながら泣いていた。

父

「いくら使えば気がすむのよ!ああ゛?!!」

母

「だから!!必要だから使ってんじゃないの!!」

ケンカの内容は母が金を使いすぎだとか、 生活費が足りないとか、そんな話だった。 僕はこのケンカが疑問でしかたなかった。

ケンカなんてしても解決しないんだから、 話し合えば解決するんじゃないか?

と思っていた。

でも、小さかったので思っていることを 上手く親に伝えることが出来なかったし、

何より怒鳴りあってる親が怖くて、 気づいたら親のケンカには 一切関わらないようにしていた。

その影響か、親に対する感情が消えて、 実家に住んでいた18歳までの間は 親が泣いていようと怒っていようと 何も感じないようになっていた。 もし、このレポートを親の立場で見ている人がいるなら、強く言いたのは、

子供がいる人はどんな理由があっても 子供の前ではケンカしないでくれ。

ということだ。

親のケンカほど、子供にとって辛いものはない。

僕は小さい頃、母から教育という名の下に 虐待的な事もされた事があるけれど、 それよりも親のケンカの方が僕の中では辛かった。

なぜお互い好きで結婚したはずなのに、 いつもケンカばかりなんだろう?と、

ずっと苦しんでいた。

親のロゲンカを見て育った子供は 普通の人に比べて脳が約20%萎縮すると言われている。

脳が萎縮すると、子供はうまく感情を コントロールできなくなってグレたり、 学力が低下する。

実際、僕も小さい頃は感情のコントロールが うまく出来ず、中学校の頃は バカにされたり、相手から何か不快な事をされると、 カッとなってキレる子供だった。

それぐらい、親の言動一つ一つが 子供に与える影響は大きいのだ。

なので、お願いだから子供の前で ケンカはしないで欲しい。 話を戻して。

親がケンカしている姿を見て、 僕は自分の家がコンプレックスになった。

仲が良さそうな家庭を見ると ケンカばかりの我が家が恥ずかしくなった。

そして、家も地獄だったが 学校は学校でさらに地獄だった。

昔の僕は太っていて、顔もニキビだらけで 運動音痴でテストの点数も低くて コミュニケーション能力もなかったので

良いところが何もなくて、 いつも人からバカにされていた。 高校でついたあだ名は下人(げにん)だった。 あとは太っていたので普通にデブと言われていた。

僕のことを名前で呼ぶ人はいなかったし、 僕の持ち物は常に人に勝手に使われていて 人権もなかった。

でも、自分がいじめられてるとは 思いたくなかったし、 怒ったらハブられるんじゃないかと怖くて。

「自分はいじめられてるんじゃない。 イジられてるんだ・・」と思うようにして、

バカにされても怒れずにヘラヘラしていた。

そして、そんな言いたいことが言えない

自分が大嫌いだった。

学校で友達と思える人は誰もいなくて、 誰も信じられなくて。

学校から帰ると親はケンカしているし、 親父は酒を飲んだくれて飲酒運転で出ていくし、 母親は泣いてるし。

もう学校も家も嫌で消えてしまいたかった。

だからなのか、

僕は地元を出て良い大学に行って、 良い会社に入って周りを見返したい。

と思うようになった。

なので、僕はとりあえず良い大学を目指した。

もちろん、私立なんて行くお金はないので、 授業料免除のある国立しか選択肢はなかった。

で、東北大学という、 東北の中ではそれなりの大学を 目指していたのだが、 勉強不足であっけなく撃沈した。

もう全然足りなかった。

で、僕は落ちたのが悔しすぎて親と担任に土下座して 浪人してもう一度だけチャレンジさせて欲しい。 と懇願したけれど、

当然我が家には予備校に行くお金はないし、 自宅浪人なんてお前には無理だ。 という事でこれまた撃沈。 そして、岩手大学という岩手県の大学に進学した。

で、その後、僕は東北大学を 落ちたのが悔しすぎて、 大学院でリベンジを果たすために猛勉強して、 東北大学の大学院にチャレンジして受かる。

学歴ロンダリングに成功した。

そして、大学院での研究内容は トヨタの仕事とは1ミリも関係なかったが、

就職活動で出会ったOBの人が魅力的で、「この人みたくなりたい!」と思い、 大学の推薦枠を使って入社することになった。

そして、冒頭でも話したように、 2013年4月、 僕は念願のトヨタに入社した。

で、この会社でのし上がってやると 燃えていたわけだが、 早々に自分がそこまでクルマが好きじゃないと気づい た。

普通の人よりは好きな方だが、 同期のガチなクルマ好き達と話していると 自分の熱量が全然大したことないのに気づいた。

なので、仕事をエンジョイしつつ、 プライベートも充実させようと

ワークライフバランス路線に切り替えようと思ったが、 全然そうはならなかった。

入社前は、

平日はバリバリ仕事をして、

休日はプライベートも充実!

毎日が刺激的!

という夢を抱いていたが、 実際は

仕事は資料を作っては修正の繰り返しで つまらないし、成長の実感が持てなかった。

次から次と仕事が降ってくるので 毎日残業しないと片付かないし、

残業管理は厳しい割に、 この会議要る?ってレベルの どうでもいい内容の議題に1時間は使っているのが バカらしかった。

上司は朝と夕方では言ってることが違って 理不尽だったし、 休日に会社の駅伝や部の運動会に 駆り出されてプライベートを犠牲にするのが 超嫌だった。

先輩社員は毎日遅くまで残って ため息をつきながら仕事をしている。

全然人生楽しくなさそうで、職場ではバタバタと うつで休職する人が発生していた。

極めつけに驚いたのが先輩から聞いた話だ。

年収が900万円ほどあるはずなのに、 住宅ローンの返済があるからお小遣いが1万円らしい。

トヨタ社員なのに全然お金ないのか・・・

これはショックだった。

将来自分も先輩や上司と同じようになるのか? と考えると、未来に希望が持てなかった。

「俺の人生このままでいいのか・・・?」

1年目、2年目となって仕事を覚え、 周りが見えてくるようになると、 うっすらと将来への疑問を感じるようになった。

でも、この時はせっかく入った トヨタを辞めようなんて気は全然なかった。

自分が勝手に期待していただけで、 社会人なんてこんなものなのだろうか?

と、思っていたからだ。

しかし、ある事件をきっかけに、 僕はトヨタを辞めようと決意する。

親父が、死んだ。

前触れもなく、突然だった。 原因は脳の血管の破裂らしい。

突然倒れて、 その5時間後ぐらいには息を引き取った。

親父が倒れた時、僕は出張先にいた。

仕事中に親戚から倒れたという連絡が来た。

で、びっくりしてそのまま会社から 新幹線に乗って、青森の実家に向かったんだけど、 向かっている途中に親父が亡くなったと連絡が入った。

つい3ヶ月ほど前までは 普通だったのに、なんで・・・?

そう思って実家に帰ると、 僕は親戚から親父について 全く知らなかった事実を伝えられる。

実は親父は工事現場で 肉体労働をやっていた影響で 体中あちこちガタがきていて、 体が痛くて夜も眠れなかったそうだ。 親父は高齢で、普通だったら工事現場では 使い物にならない。

でも中卒だし、肉体労働しか出来ないので 「息子が大学院を卒業するまでは・・・」と 現場に無理を言って、 動かない体を酷使して働いていたらしい。

で、僕がトヨタに 入社したタイミングで 仕事は辞めたわけだけど、 体が痛いのはずっと続いていた。

でも、病院で治療するとなると 結構なお金がかかる。 なので安い焼酎を大量に飲んで 痛みをごまかしていたのだ。

当然、肝臓はボロボロで

緊急入院することもあったらしい。

でもお金がないので、「もう大丈夫だ」と 全然大丈夫じゃないのに速攻で退院していた。

で、体が痛いのでどんどんお酒の量が増えて、 アルコール中毒になり、 昼も夜もお酒を飲むようになったらしく、 突然暴れることもあったらしい。

まともな食事もとらずにお酒ばかり飲んで 血管はボロボロ。

最終的に脳の血管が破裂して、 死に至ったのだ。

で、僕がショックだったのは 周り全員がそのことを知っていて、 父が僕にだけその事を隠していたことだ。 「しん(僕の名前)には心配かけたくないから 絶対に言うな」

と、親戚に口止めしていたらしい。

僕は涙が止まらなかった。

せっかくこれから 親孝行しようと思っていたのに。

60過ぎなのに、20代、30代の人に混じって 僕が大学院を卒業するまでずっと働いてくれて。

ようやくこれから恩返し 出来ると思っていたのに。 お金がないから安い賃金で 過酷な条件でも働き続け。

お金がないから病気でも 病院に行くことすら出来なかった。

情けなかった。

当時、会社員1年目だった僕は 奨学金の返済やクルマのローンでお金がなくて、

父が苦しいことも知らずに 「お金を貸して欲しい」と言っていた。

父は病院に行くお金すらなくて切り詰めていたのに、 何も言わずに僕にお金を貸してくれた。

僕は父に親孝行するどころか、

父を苦しめていたのだ。

涙が止まらなかった。

僕は心の底からお金がない自分が悔しかった。

お金がないことは悪だ。

そして、うっすら感じていた疑問が 確信に変わった。

俺の人生このままでいいのか?

いや、いい訳がない。

一度きりの人生なのに、 充実感のない環境で 10年、20年と過ごすこと。

先輩や上司みたいに ため息をつきながら働いたり、 節約のために、自分で稼いだお金を 好きに使えないこと。

全て嫌だった。

そして一番は、

お金がないという理由で

「嫌だ、いつか辞める」と言いながらも結局辞められず、精神を病んだり、ストレスで病気になること。

これが一番嫌だった。

トヨタを辞めよう。

僕は決意した。

そして、この後いろいろあって、 会社を辞めることになる。

で、その話をする前に、 もしこれを読んでいる人で、

会社が辛くてしょうがない という人がいたら伝えたい。

それは、

会社が嫌だったら辞めていいし、 それで精神を病んでしまったら元も子もない。

今の時代は会社に属さなくても生きていけるんだよ ということ。 あとで話すけど、 僕は会社で働きすぎたのと 仕事のプレッシャーで うつの一歩手前の状態までいった。

精神的に追い詰められていたけど、 周りの助けもあってヤバくなる前に会社を辞められた。

あの時辞めて本当に良かったと思う。

もちろん、自分の力で生きていくためには 準備と努力は必要だけど、 今は会社員じゃなくても生きていける時代だ。

だからヤバくなりそうだったら 逃げるという選択肢もありなのだ。

そのための詳しい方法論は

今後メルマガやyoutubeで話していくけれど、 今は色んな働き方が増えて、 昔では出来なかった生き方が出来るようになった。

でも、会社の先輩や上司は会社員の生き方しか知らない。

だから、違う選択をしようとすると 真っ向から否定してくる。

僕がトヨタを辞める時、上司から

「トヨタで働けることがどれだけ恵まれているかわかっているのか?辞めたら大変なんだぞ?」と、

さも地獄に落ちるかのようなことを言われた。

だけど、実際に辞めてみて、 僕にとっては会社員という生き方より、

自分でやる方がはるかに可能性に満ち溢れて、 楽しくやりがいのある働き方であるとわかった。 今会社員の人は 目の前の仕事にいっぱいいっぱいで 外の世界を見る余裕がないかもしれない。

だけど、少し引いた目線で世の中を見ると、 実に色んな稼ぎ方、働き方がある。

僕は仕事柄、色んなビジネスの話を聞くけど、 こんな事でそんなに稼げるの?? と驚かされることがたくさんある。

なので、良い大学を出て、 良い会社で働くことだけが全てじゃない。 と僕は伝えたい。

それで幸せなら良いけれど、 僕は幸せじゃなかった。 無理に"世間が決めた良い人生"を 生きる必要はないのだ。

他人が決めた良い人生ではなく、

あなたは "あなたにとって良い人生"を 生きなくてはならない。

以前尊敬している経営者に言われたことで、 心に残っている言葉がある。

「お前が不幸だったら周りも不幸になるんだ。」

これは本当にそう思う。

自分が幸せじゃなかったら 家族、周りにいる人間も結果的に不幸になる。 例えば会社員の場合、

```
仕事が嫌だ、辞めたい
ストレス
ストレスで仕事が思うように進まない
職場に迷惑をかける
上司からも怒られる
さらにストレス
家族にもストレスが伝わり、
家族もストレス
以下、不幸の連鎖
```

こういう風になる。

昔の僕は

「自分が会社を辞めたら周りに迷惑がかかる。」

という理由で自分を犠牲にしながら働いていた。

でも、嫌だ嫌だと思いながら働かれる方がよっぽど周りの人からしたら迷惑だ。

確かに辞めたら短期的には 迷惑はかかるかもしれない。

家族がいたり、家のローンがある人は 簡単に身動きできないと思う。

でも、それであなたがうつ病にでもなったら 家族も悲しいだろうし、

「嫌だ、嫌だ」と言いながら働いている人が ずっと働き続けるというのは、長期的に考えたら 職場にも、会社にも、社会にも迷惑だと思う。 大企業であればあるほど、 自分の代わりなんていくらでもいる。

あなたはあなたの人生の心配をしよう。

あと、上司や先輩は

「俺も昔はそうだった。 もう少し頑張ってみろ。 考え方を変えればやりがいは見つかる。」

と、言ってくるかもしれない。

でも、当たり前だけど 10年後、20年後、その先輩たちがいなくなった時に、 人生を後悔しても誰も責任なんて取ってくれない。

結局自分の人生なんだから

自分で判断して自分で責任を取らなくてはいけないし、 逆にいうと、自分次第でいくらでも良くできるのだ。

なので、自分を犠牲にしてまで 嫌な場所で何年も働く必要はないのだ。

もし嫌なら抜け出さなければいけない。

ただ、勢いで辞めても自分が困るだけなので、 自分が困らないようにするためにも、 今から準備をしていこう。

話を戻します。

トヨタを辞めよう。

僕は決意した。

期限は4年。

30歳までには辞めると決めた。

そこから僕はトヨタ以外の道を模索し始めた。

僕は今会社経営しているけれど、 当時は今みたいに起業するという発想がなかった。

起業なんて自分には関係ない 遠い世界の話だと思っていた。

なので、最初は転職を考えた。

で、転職サイトに登録したり、 異業種交流会に行って100人以上に話を聞いた。 けど、いまいちやりたいと思える仕事がなかった。 結局、どこの会社で働いても 部署によっても仕事が違うので、 「入ってみたけど違った」ということはあるし、

職場の雰囲気や人間関係も 実際に入ってみないと分からないので 運ゲーだと思った。

それに、転職したとして 給料が下がる場合がほとんどだし、 給料が高い会社は今以上に忙しいことが 分かった。

そういった話を聞けば聞くほど、 分からなくなった。

「自分は何がしたいんだ?

お金が欲しいのか? ただ単に自由が欲しいのか? 仕事のやりがいが欲しいのか?」

疑問が深まるばかりで、 悶々とした日々が3ヶ月ぐらい続いた。

この時はとても苦しかった。

自分が何をしたいかも分からないし、 辞めると決めている仕事への モチベーションが湧かず、 停滞してる感が半端じゃなかった。

もしかしたら、このまま何も変わらずに 30歳、40歳、と時間が過ぎ、 あっという間に定年になるのでは?

そう考えるたびに焦りを感じ、不安になった。

でも、焦るだけでどうしたら良いかは

分からないままだった。

起業の世界に出会ったのはそんな時だった。

たまたまフェイスブックで 名古屋の起業セミナーの広告を見て、 ビジネスというものを知った。

たしか、副業からスタートして、 将来は独立しませんか?的なセミナーだった。

これだ!と思った。

「副業でお金稼げたら会社辞めれるかも??!」

でも、同時に不安だった。

「俺に出来るのか?」

割と高額なセミナーだったので、 「うーん、うーん」と1週間ぐらいどうしようか悩ん だ。

で、埒があかないので問い合わせしてみたら、 参加してダメだったら返金保障もあると言われたので セミナーに出席して、僕はビジネスを始めた。

ビジネスの勉強は超楽しかった。 それまでのつまらなかった日常が 一気に楽しくなった。

セミナーでは、 「ビジネスとは人の悩みを解決して、 その対価としてお金をもらうものだ」

と教えられた。

今考えると、超普通の内容だったんだけど、 ビジネスのビの字も知らない僕には 衝撃的で感動した。

ビジネスの勉強を通して、世の中の仕組みが 少しずつ見えてくるのは面白かった。

- ・会社の仕組み
- ・暇なのにお金持ちの人と、忙しくてお金がない人の違 い
- ・人はどんな時にお金を払いたくなるのか?

などなど、実生活で役立つ感がすごかった。

僕はビジネスにハマった。

家に帰った後、会社の昼休みなど 時間があったら勉強するようになり、 暇だった時間が充実し始めた。 おかげで毎日が超楽しくなった。

で、勉強したことを生かして、 色々試していたら、副業を始めて3ヶ月後には、 単発だけど40万円ぐらい稼げたりもした。

すごく嬉しかった。

そんな感じで副業を通して お金を稼げたり、社長さんと知り合ったり 新しい世界が広がって超楽しかった。

もっともっと頑張って早く会社をやめるぞ~!!

でも、そう意気込んでいた矢先、 僕の生活は一変した。 え・・・? 新しいプロジェクトですか・・・?

一気に血の気がひいた。 今やっている車の開発の他に、 新しい技術の開発を先輩と一緒に やることになった。

ビジネスを始めて 少し仕事の要領が良くなったせいか、 もう少し負荷をかけることになったらしい。

無理だと思った。

副業をやるために 会社にいる間は仕事を頑張って 副業の時間を確保しているのに、 仕事が増えたらそれどころではない。 で、嫌な予感は的中した。

知識も経験もない分野だったので、 会社にいる時間だけでは全然足りなかった。

それまでやっていた仕事だけで ギリギリだったのに

そこから更にやることが増えて、 仕事は持ち帰りになったり、 休日出勤をした。

当然副業どころではない。

昼休み、家に帰ってから、土日、 空き時間は全て仕事をしているか 仕事の勉強時間になった。

そうでもしないと仕事が追いつかなかった。

超苦痛だった。

もう考えることが多すぎるし、 ミスが増えて上司に怒られるしで ストレスが半端じゃなくて、 この時は本当に限界だった。

頭がボーッとして何も考えられないし、 寝ていると金縛りになったり、

「う゛う゛ううう」と

自分のうなされている声で目が覚めるのだ。

こんな状態が2ヶ月以上続いた。

この時期はいつも憂鬱な気分だし、 何もやる気が起きなくて、 鬱の初期症状みたくなっていた。 で、ある日、 知り合いの経営者さんに相談したら、

「お前が不幸だったら周りも不幸になるんだ。」

と言われた。

涙が出た。

俺は何を頑張ろうとしていたんだ。

独立したかったのに、 いつの間にか大切なものを犠牲にしながら やりたくない事を無理して頑張っていた。

そうだ、頑張らなくてもいい。 辞めよう。

ずっと踏ん切りがつかなかったが、 この人の言葉がきっかけで 僕は会社を辞めることにした。

次の日、

「会社を辞めさせてください」

と上司に伝えた。

そこからが超大変だった。 上司と先輩の鬼説得が始まった。

辞めてどうする? 今忙しいから、ちょっと疲れてるんだろ。

俺もそういう時期があったよ。でも大丈夫。 違う部署に行ってみるのはどうだ?

もう少しトヨタで修行を積んでからでも遅くはないん じゃないか? あと5年は早いな。

トヨタの仕事も出来ないお前が起業なんて出来るわけないだろ!!!

毎日のように打ち合わせを設定されて、 ありとあらゆる先輩から色んなことを言われた。

疲れて頭がおかしくなったと思われたらしく、 心理カウンセラーの診断を受けて来いとも言われた。

そしたら、逆にカウンセラーさんに

「私応援しますよ!起業頑張ってください! 上司の方には鳴海さんは大丈夫ですって 言っておきますから!」

と応援された。 これには勇気が出た 笑 そんな感じで、 辞めるなという説得が1ヶ月ほど続き、 上司とその上司とそのまた上司まで話して、 3年目の3月末でトヨタを辞めた。

いやあ大変だった。

で、辞めたは良いもののアテはなかった。ここから先どうしたものか。

で、僕は色々と考えた結果、 世界一周×ビジネスの旅をしようと決めた。

なぜ世界一周か?というと、

長期の一人旅にずっと憧れていたのと、

海外を回って起業アイデアを探しつつ、

あわよくば旅をしながらお金を稼いでみたい。 と思ったからだ。

で、英語が全くわからなかったので 最初はフィリピンのセブ島で2ヶ月間の英語留学をし た。

刑務所のような学校で 朝の6時から夜の9時までひたすら勉強した。

で、フィリピンで何かお金稼ぎできないかな?と思い、 ストリート書道をやってみた。

フィリピン人の名前を画用紙に筆で書いて、 売ったりしていた。

でも、フィリピン人はあまりお金を持っていなくて、 全然儲からなかった 苦笑

20枚ぐらい売れたけど一枚10円とか。

5時間ぐらい路上に座って書道していたけど、 200円ぐらいしか儲からなかった、、、

そして、セブ島留学が終わり、 次はオーストラリアに行った。

このオーストラリアで 僕は運命を変える出会いが訪れた。

フィリピンでの学びを活かし、 ストリート書道は儲からないので オーストラリアではもっと単価が高い ビジネスをやろうと思った。

で、アイディアが浮かんだので、 とりあえず200枚ほど英語でチラシも作り それをポスティングしようとしていた。

そんな時・・・

ね、年収1億円・・・・!?

たまたまネットをしていたら、 あるブログを発見した。

23歳で年収1億円の起業家のブログだった。

ウソだろ、、、? 23歳で大学生なのに年収 1 億円って。

冷静に考えると超絶怪しかったのだが、 書いてある内容が結構まともだったので 妙に納得した。

自分が今まで経営者さんから学んだことと 共通することを言っていた。 で、毎日メルマガを読んでいるとある日、

銀座で懇親会をやります。 参加したい人は熱い想いを書いて送ってください。

というメールが来た。

おお、年収1億の23歳に会えるのか。 興味ある。超興味ある。 そんな奴本当に実在するのか?

・・・でも俺今オーストラリアだしな。さすがに行けないなあ。

と、一度はそのメールをスルーした。

でも時間が経てば経つほど気になって 色んな疑問が湧いた。 23歳で 1 億稼げるってどんな人なんだろう? どうやって稼いでるのかな? やっぱ高級車とか乗ってるのかな?

知りたい事が頭の中に山ほど湧いてきて、

あと2日で締め切ります。

というメールが来た時、 僕は行こうと決意した。

この時はとても迷った。

でも、自分がもし 1 億円持ってたら どうするだろう?

会いたい人がいたら お金なんか気にせず行くんじゃないか?

ブラジルでも、アメリカでも行くだろう。

それがお金持ちの価値観なのだから、 お金がない時からお金持ちの価値観で行動することで、 お金持ちになれるんじゃないか?と考えた。

冷静に考えたら、 たった2時間の飲み会のためだけに、 オーストラリアから日本に行くなんて馬鹿げてるけど、

でもそのおかげで今があるのだから 当時決断した自分を褒めてあげたい。

で、1億の男と出会ってみて、 出会ってからのエピソードは メルマガに書いてある通りです。

1億の男に出会う

上場企業をコンサルしてたとか スケールの違いすぎる

エピソードを聞きまくる。

 \downarrow

この人は本物だと確信

 \downarrow

旅のために貯めた資金を ほぼ全部使って弟子入り

オーストラリアに戻り、 SNSやブログを使って アフィリエイトで収益が出る仕組みを作る

 \downarrow

お金を稼げるようになる

という流れです。

かなり長くなりましたが、 このレポートで伝えたいのは 最初にもお伝えした通り、

自分でお金を稼げれば人生が変わる。

ということです。

自分で稼げたら、嫌な環境で ストレスに耐えながら働き続けることもないですし、

一気に人生の選択肢が増えて やりたかったことや夢だったことが 実現できるようになります。

じゃあどうやってやるの?

という方法論は これからの配信でお伝えしていきますが、

方法論よりも大事なのは

ビジネスを自由自在に作って、 成果が出るまで諦めずに改善する **稼ぐ力**です。

お金を稼ぐ方法はいくらでもあります。

僕はネットでも稼いできましたし、 実店舗でも稼いできました。

巷ではAIがアツい!とか、 今の時代はこれが稼げる!と、 色んな方法が出回っていますが、

稼ぐ力がない人は いつまでも教えてもらう側、 **つまり消費者から抜け出せない**のです。

自分でビジネスを組み立てる力がないので ブームが去ったら稼げなくなります。

それだと、

稼ぐ力がある人の作った仕組みに組み込まれるだけの 形を変えた労働者でしかないのです。

だからこそ、自分でビジネスを作る力、 つまり稼ぐ力が大事なのです。 稼ぐ力があれば、ネットであろうと 実店舗であろうと、 どんなジャンルでも稼げるようになります。

稼ぐ力は後天的に身に付きますし、

稼ぐ力が身につけば 何をしても稼げるようになります。

自分で稼げるようになると単純に楽しいですし、 人生の安心感が得られます。

自分で稼げていれば、 上司にへこへこしなくて済みますし、 会社を辞めたくなったらいつでも辞められます。

「この会社を辞めたら人生終わりだ。。。」と 我慢して働き続けるのと、

「辞めようと思ったらいつでも辞められるけど、

今の仕事が気に入ってるので、やりたいからやっている。」では全然違います。

人間、選択肢が無いと不幸なります。

会社を辞めたいけど辞められない。 旦那と別れたいけど、別れられない。

選択肢がないから我慢しなければいけないですし、 我慢し続けるから苦しいのです。

我慢し続ける人生ではなく、

選べる人生になるのが大事です。

お金がこの世の全てではないですが、 お金があると、人生の選択肢が一気に広がります。

昔の僕のような、 お金がないことで起こる不幸を避けられます。 それに、自分で稼げるメリットは お金だけではありません。

自分で世の中に商品やサービスを 提供するということは、

より多くの人に役立てるということですし、 出来ることが増えたり、 人に感謝されると自信になります。

僕は最初、オンラインで ビジネスをやるのが不安でした。

プログラミングとか出来ないしな、 文章書くとか苦手だしな。。

自分にできるのかな??

でも、一つずつ身につけたら意外と簡単でした。

プログラミングは必要ないですし、 いまだに全くわかりません。

文字が打てて、ネット検索ができれば なんの問題もありません。

他のツールは少しずつ覚えていけば大丈夫です。

分からなかったことが分かるということは 成長したということです。

そして、誰かの役に立てるということです。

どんどん出来ることが増えて、 人から頼られるようになると、 市場価値が上がりますし、

市場価値が上がると 収入も自信も増えます。 自分でビジネスをやると、 人として成長できますし、器も広がります。

どんどん周りに素敵な人が増えて 友達もできますし、人生が充実するようになります。

ビジネスにはお金を稼ぐはもちろんですし、 それ以外のメリットもたくさんあるんです。

このレポートをここまで読んでくれている方は 成長意欲のある人だと思います。

だからこそ言いたいのが、 世の中には、知らないだけでチャンスがゴロゴロ転がっ ています。

会社員時代の僕は、億稼ぐ人なんて、 芸能人とかスポーツ選手ぐらいだろと思っていました。 でも、知らないだけで 凄い人は世の中にゴロゴロいます。

自分で**稼ぐ力**を身につけたら そんな**自由な世界に行けます。**

そのためには、 努力をいかに効率よく結果に変換するか。

正しい知識が大事です。

上手くいくための 方法を勉強すれば、少ない努力でも 効率よく成果が出せます。

人は何歳からでも変われます。 自信をつけて生まれ変わることができます。

僕はセンスがない部類でしたが、 それでもきちんと知識を学んだことで 結果が出せましたし、 トヨタ時代よりも少ない労働時間で 何倍も稼げるようになりました。

そうなるためには、 普段から**どんな情報に触れるかが大事**だと思います。

副業と出会う前の僕のように、 会社の同期や先輩など 自分で稼いだことがない人と話していても 稼げるようにはなりません。

逆に**自分で稼いでいる人の情報に触れ続けていたら 自然と稼ぐ力は高まります。**

お金持ちの子供がお金持ちになりやすいのは 親からお金持ちになるための知識や考え方を 浴びてきたからです。

じゃあ、貧乏な家で育った人は 一生お金持ちになれないのか? というとそんな事はありません。

意識して学べば **後天的に稼ぐ力は身につきます**。

僕は海外が好きなので色んな国に行きますが、 日本に生まれただけでラッキーだと思います。

自分次第でどうにでも人生変えられるからです。

インドのスラムに行ったことがありますが、 パソコンを買うことはおろか、 スマホを買うこともできません。

でも日本なら誰でもオンラインでビジネスできます。

会社や周りにバレたくない人であれば、 顔出し無し、匿名でできます。 という感じで、 僕ばブログやメルマガ、youtubeで 稼ぐ力を鍛えるための情報を発信しています。

ぜひ、学んでいきましょう。

長いレポート、ここまで読んでくれて ありがとうございます。

これを読んだ人が、 昔の僕のように閉塞感でいっぱいで 将来に全然希望が見出せない つまらない世界から抜け出して、

一度だけの人生を最高なものにしてくれると 幸いです。

では、続きはメルマガで。

感想はどんな感想でも超喜びますので

どしどしお待ちしています。

返信には全て目を通しています。

面白い返信をくれた人とはZOOMしたり、 個別に返信したりしています。

また、積極的に返信をしてアウトプットしている人は 学んだことを吸収してどんどん稼ぐ力が高まりますし、 最初は文章が苦手でもどんどん上手くなっています。

なので、ぜひ自身の成長のためにも返信してください。

完璧主義にならずにどんどんやると 成長につながります。

ではありがとうございました。

追伸

LINEもやっています。

限定コンテンツを配信してるので、 まだの人はよかったらLINEも登録しておいてください。

下記から登録できます。

LINE登録はこちら